

(別紙様式4)

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

平成29年4月21日

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
盛岡ペットワールド専門学校	平成16年9月21日	工藤 昌雄	〒020-0034 岩手県盛岡市盛岡駅前通10番16号 (電話) 019-604-1151				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人龍澤学館	昭和38年3月14日	龍澤 正美	〒020-0025 岩手県盛岡市大沢川原3丁目4番1号 (電話) 019-622-6357				
目的	伴侶動物として家庭で飼育されるペットが増え、愛犬のトレーニングに注目が集まる。動物病院でのしつけ教室・犬の幼稚園等が増える近年、ペットトレーナー(インストラクター)として必要な犬のコントロール・管理法・トレーニング法などが必要とされているこのような状況を踏まえ、本学科はトレーニング系事業所を想定した実習・演習を行うことで、人間性・社会性を兼ね備えた能力のある即戦力となる人材の育成をする。						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	文化・教養専門課程	ドッグトレーナー科	平成26年文部大臣告示第7号				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1820	380	0	1440	0	0
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
40人	26人	5人	3人	8人			
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日	成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 筆記試験、または実技試験によるA・B・C・Dの4段階評価				
長期休み	■学年始め: 4月6日 ■夏季: 7月24日～8月20日 ■冬季: 12月18日～1月14日 ■学年末: 3月19日～3月31日	卒業・進級条件	出席日数が年間必要な日数の9割以上であること。 専門科目においてC以上であること。				
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 個別面談・保護者面談	課外活動	■課外活動の種類 動物系ボランティア・地域清掃 ■サークル活動: 無				
就職等の状況	■主な就職先、業界等 ペットショップ・動物病院 ■就職率 ^{※1} : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 100 % ■その他 (平成28年度卒業者に関する平成29年3月1日時点の情報)	主な資格・検定等	愛玩動物飼養管理士 損害保険募集人資格 トレーナーライセンス(学校認定)				
中途退学の現状	■中途退学者 0名 平成28年4月1日時点において在学者 17名 平成29年3月31日時点において在学者 17名 ■中途退学の主な理由 経済的理由・進路変更 ■中退防止のための取組 月単位を計上し、出席率95%以下～個別面談、出席率90%以下～保護者面談 等	■中退率 0 % (平成28年4月1日入学者を含む) (平成29年3月31日卒業者を含む)					
ホームページ	http://wanco.ac.jp/						

1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

教育課程の編成を行うにあたり事業所等と連携する上では、本校の「人と動物のより良い関係づくり」という教育理念を理解いただき、次代を担う人材の育成を事業所等と学校が一緒に行っていくことに賛同いただける事業所等と連携することを基本方針とする。学生が、就業先の事業所等において即戦力となり、将来的には業界の発展に寄与できる力を身につけるために、事業所等から最新の動物業界の状況や今後の動向、またトレーニング実務において新たに必要となるインストラクション技術・飼育法等に関する情報を提供いただき、これを定期的に職員会に諮り、学生の実態も合わせて考慮しながら、より効果的な教育課程の編成を検討していく。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程の編成においては教育課程編成委員会からの意見・アドバイスを十分に活かしつつ、あくまで本校教員が主体となって実践的かつ専門的な職業教育を行なうものである。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
工藤 昌雄	盛岡ペットワールド専門学校 校長	2年	本校職員
高田 孝一	盛岡ペットワールド専門学校 副校長	2年	本校職員
三上 祐太	盛岡ペットワールド専門学校 教務部	2年	本校職員
多田 洋悦	一般社団法人 岩手県獣医師会 会長	2年	①
保木 千春	DOG GARDEN青森 代表	2年	③
菊地 美咲	盛岡ペットワールド専門学校 教務部	2年	本校職員
白川 優佳	盛岡ペットワールド専門学校 事務局	2年	本校職員

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(開催日時)

第1回 平成28年8月3日 15:00～16:00

第2回 平成29年3月1日 15:00～16:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

頂いたご意見を基に次年度の活動計画に取り入れるようにしている

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

より専門性の高いトレーナー(インストラクター)を育成するため、学生本人の出身地域や就職希望地域も考慮に入れ、学校内での学びが現場でどのように生きていくのかを経験させたいという本校の目的を理解して指導にあたっていただける事業所を選定。現場に必要な接客マナーを身に付け、接客技術・衛生管理方法・危機管理方法を理解すると同時に仕事をすることの喜びややりがいを学ぶことを目的とする。事前に学校内での座学で目的意識を高めたうえで、岩手県内・県外(おもに東北地区)の動物関連事業所において、実習を行う。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

動物関連企業や動物病院と契約を締結し、連携している。

(3)具体的な連携の例

科目名	科目概要	連携企業等
インターンシップ 実習Ⅰ	現場に必要な接客マナーを身に付け、接客技術・衛生管理方法・危機管理方法を理解すると同時に仕事をすることの喜びややりがいを学ぶことを目的とする。事前に学校内での座学で目的意識を高めたうえで、岩手県内・県外(おもに東北地区)の動物関連事業所において、実習を行う。	松園動物病院・エル動物クリニック・マルカンペット津志田店・イオンペット盛岡南店・さくらんぽっこを含む12事業所
インターンシップ 実習Ⅱ	1年次終了実習での課題や反省を活かし、2年次実習では自ら気づき・考え動くことを目標とする。学校内での既習実習を踏まえて、現場で起こりうる危機管理等にも目を向け、より高い技術を学び実務経験を積むことで即戦力となる人材を育成する。	松園動物病院・エル動物クリニック・マルカンペット津志田店・イオンペット盛岡南店・さくらんぽっこを含む12事業所
ペットビジネス教養Ⅰ	地元の企業と連携し、ペット参加型イベント「WANだふるLIFE」の企画・運営を行う。動物との共生をサポートする上での知識・技術を活かし、物事を作り上げる喜びや運営上の難しさを学ぶと同時に、将来必要になる行動力・判断力・気配り・臨機応変に対応する力を学ぶ。	株式会社岩手エッグデリカ 株式会社テレビ岩手
ペットビジネス教養Ⅱ	地元の企業と連携し、ペット参加型イベント「ドッグフェスティバル」の企画・運営を行う。ペットビジネス教養Ⅰで行ったイベント企画経験を応用し、よりお客様に満足していただける企画とサービスを提供する。同じ想いを持った仲間とひとつのことを作り上げることでチームワークを磨くと同時に、犬をコントロールする・一緒に楽しむことを飼い主に伝える技術も習得する。	株式会社テレビ岩手

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

本校・本学科の教員として必要な知識・技術・技能や授業及び学生への指導力について計画的に教育し向上させることを目的に、校内・校外において実施される研修等への参加機会を積極的に設けることを「盛岡ペットワールド専門学校 研修等規程」により定め、組織的に取り組んでいく。
ここでいう研修等には、事業所等から講師を招いて学内で行う研修や学外で事業所等が主催して行われる研修等への参加だけでなく、自己啓発活動への援助も含む。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

岩手県動物愛護推進ボランティア研修会、動物取扱業責任者研修、AFC(アニマルファンシィアーズクラブ)等

② 指導力の修得・向上のための研修等

岩手県動物愛護推進ボランティア研修会、動物取扱業責任者研修、AFC(アニマルファンシィアーズクラブ)、ペット業界セミナー、好印象のビジネスマナー、おもてなしセミナー、起業家講演、MCL教職員研修会等

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

FCIジャパンインターナショナルドッグショー、インターペット～人とペットの豊かな暮らしフェア～等

② 指導力の修得・向上のための研修等

FCIジャパンインターナショナルドッグショー、インターペット～人とペットの豊かな暮らしフェア～、好印象のビジネスマナー、MCL教職員研修会等

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者として事業所等から参画いただいた委員を含む学校関係者評価委員会を設置。各委員の実務に関する知見を活かした視点で、教育目標や教育環境等についての「自己点検・評価」結果に基づく評価を実施し、その評価結果を学校運営会における改善事項の提案に反映したうえで学校運営会や職員会において検討する。これを定期的に行うことにより、「地域で必要とされる人材の育成」のための教育の質の向上、学生支援、卒業支援、社会活動等の充実とともに、健全かつ安定した学校運営を図ることを基本方針とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	1. 建学の精神・教育理念、教育目的・目標
(2) 学校運営	7. 管理運営(各校)、8. 管理運営(法人)
(3) 教育活動	2. 教育の内容
(4) 学修成果	4. 教育目標の達成度と教育効果
(5) 学生支援	5. 学生支援
(6) 教育環境	3. 教育の実施体制
(7) 学生の受入れ募集	5. 学生支援
(8) 財務	8. 管理運営(法人)
(9) 法令等の遵守	8. 管理運営(法人)、9. 改革・改善
(10) 社会貢献・地域貢献	6. 社会的活動
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員会の意見については、次年度の教育活動その他の学校運営の改善等に活用することで具体的な検討を始めている。
特に、卒業生支援について充実させることと、教員の研修の機会をこれまで以上に増やしていくことについては早期に実現できるよう、職員会において在校生ならびに卒業生対象の講演会や教員の研修に関するスケジュールや予算繰り等の検討を始めている。また、避難訓練についても、より実際に近い「動物の同行避難」を実施する体制を確立するために必要な事項を整理し、マニュアル化を進めている。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
佐藤 れえ子	岩手大学農学部動物病院 病院長	2年	①
村上 肅	株式会社 マルカンペット 代表	2年	③
佐藤 丈嗣	盛岡ペットワールド専門学校 卒業生	2年	卒業生
工藤 昌雄	盛岡ペットワールド専門学校 校長	2年	本校職員
高田 孝一	盛岡ペットワールド専門学校 副校長	2年	本校職員
三上 祐太	盛岡ペットワールド専門学校 教務部	2年	本校職員
菊地 美咲	盛岡ペットワールド専門学校 教務部	2年	本校職員
天瀬 恵美子	盛岡ペットワールド専門学校 教務部	2年	本校職員
高坂 恵梨香	盛岡ペットワールド専門学校 教務部	2年	本校職員
菅野 さくら	盛岡ペットワールド専門学校 教務部	2年	本校職員

吉田 聖	盛岡ペットワールド専門学校 教務部	2年	本校職員
村上 朝隆	盛岡ペットワールド専門学校 事務局	2年	本校職員
白川 優佳	盛岡ペットワールド専門学校 事務局	2年	本校職員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())
URL: <http://www.wanco.ac.jp/>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育の質の保証・向上のためにも、関係事業所等から本校の教育活動への理解、協力を得られるよう、教育活動その他の学校運営の状況等について、ホームページや学校案内等で広く情報を提供していく。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	募集要項「盛岡ペットワールド専門学校の概要」
(2)各学科等の教育	学校ホームページ「学科紹介」、学校案内「学科紹介」
(3)教職員	学校案内「職員紹介」
(4)キャリア教育・実践的職業教育	学校案内「実践授業紹介」「就職サポートシステム」
(5)様々な教育活動・教育環境	学校案内「校外活動」「学科紹介」
(6)学生の生活支援	募集要項「指定寮について」
(7)学生納付金・修学支援	募集要項「学費サポート」
(8)学校の財務	グループホームページ「MCL専門学校グループとは 財務情報」
(9)学校評価	学校ホームページ「自己点検・学校関係者評価」
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

URL: <http://www.wanco.ac.jp/>

URL: <http://www.mclnet.jp/>

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 ドッグトレーナー科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			動物飼養管理 総論Ⅰ	動物業界で活躍する上で必須となる動物の飼育法・健康管理等の知識・技術を学校動物の飼育を通して実践し習得する。また愛玩動物飼養管理士の資格取得のため、講義・問題演習等を行う。	1 通	200		○	△	○		○			
○			動物看護学Ⅰ	実際の仕事に結び付けながら、現場で活かせる犬の健康管理や動物の病気などを座学を通して学ぶ。	1 通	50		○	△	○		○			
○			グルーミング 学Ⅰ	犬のシャンプーケアを通して、日頃の健康管理を行える人材を目指す。シャンプーの手順を理論から学び、簡単なお手入れケアができる技術を学ぶ。	1 通	150		△	○	○		○			
○			しつけトレ ーニング学Ⅰ	座学を通して犬の行動や学習理論等を学び、それを踏まえ実践実習で犬のコントロール・管理法・トレーニング法を習得する。また、飼い主さんへの説明力と様々な犬や人に対応する柔軟性を身に付ける。	1 通	250		△	○	○			○		
○			インターン シップ実習Ⅰ	学校での教養授業を生かし、動物関連企業と連携してインターンシップ実習を行う。現場における事業主とのやり取り・指示の受け方、また飼い主さんとの対応を学び、現場で必要な社会人基礎戦力を習得する。	1 集 中	60				○		○	○	○	
○			動物飼養管理 総論Ⅱ	動物業界で活躍する上で必須となる動物の飼育法・健康管理等の知識・技術を学校動物の飼育を通して実践し習得する。また1年生への飼育指導を通して、後輩への指導力を育成する。	2 通	40		○	△	○		○			
○			動物看護学Ⅱ	実際の仕事に結び付けながら、現場で活かせる犬の健康管理や動物の病気などを座学を通して学ぶ	2 通	90		○	△	○		○			
○			グルーミング 学Ⅱ	犬のシャンプーケアを通して、日頃の健康管理を行える人材を目指す。グルーミング学Ⅰの応用として、少ない人数で1頭のシャンプー実習を行える技術を取得する。	2 通	70		△	○	○		○			
○			しつけトレ ーニング学Ⅱ	しつけトレーニング学Ⅰを応用し、1頭の犬をトレーニングし犬をしつける技術を習得する。また、犬の問題行動に対する知識を学び、飼い主さんと犬に合わせた対処の仕方を提案する技術を習得する。	2 通	210		△	○	○			○		
○			インターン シップ実習Ⅱ	企業と連携してインターンシップ実習を行う。1年次からの応用として、自ら気づき・考え動くことを目標とし、現場で起こりうる	2 集 中	150				○		○	○	○	

○		ペットビジネス教養Ⅰ	地元企業と連携をし、ペット参加型イベントの企画から準備・当日の運営までを経験する。物事を作り上げる難しさや人と関わる喜びを学ぶ。同時に社会人教養・一般基礎知識も学び、幅広い分野で活躍できる必要要素を習得する。	1通	250				○	○	○	○	○
○		ペットビジネス教養Ⅱ	地元企業と連携をし、ペット参加型イベントの企画から準備・当日の運営までを経験する。1年次からの集大成として、より高度な接客対応・配慮・危機管理能力を磨く。同時に社会人教養・一般基礎知識も学び、幅広い分野で活躍できる必要要素を習得する。	2通	300				○	○	○	○	○
合計				12科目	単位時間(1820単位)								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
学科試験(筆記・レポート・実技)・実習評価		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。